



第136号 (季刊)
令和2年10月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>



自然災害に備えて



田中野田町内会長 原 安正



皆様には、平素から町内活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年も9月に台風9号、10号が九州西側近海を北上し、韓国に上陸しました。

九州に接近しながら勢力は衰えましたが、特に10号は地球温暖化により、海水温が上昇し、超大型台風になると、気象庁から特別警報が発せられる予報でした。10月以後も日本に接近する台風の発生が予想されます。



梅雨期の豪雨による、内水氾濫、河川の氾濫、決壊による水害、夏から秋に発生する台風の強風、豪雨の被害、またいつ起きるか分からない地震など、自然災害発生リスクは高まる一方です。そのようなリスクに備えて町内会では、自主防災組織の強化に努めています。



今年3月、田中野田2号公園に岡山市からの補助金405千円を充当し、防災倉庫を設置し、防災機具を備えました。

発電機・電池防災グッズ(ライト・ランタン・ラジオなど) シャベル・長靴・ブルーシート
・マット・その他

備品リスト持ち出しの管理表を作成して、3ヶ月に一度備品点検を行い、また必要な備品を検討し、順次購入、充実させます。

今年8月に町内会役員、避難誘導班長の11人が集まり、発電機など色々な防災備品を作動させました。マットは被災者を乗せて移動できる商品ではないなど反省することもあり、今後の防災機具の追加購入に役立ちました。



自主防災組織会議を7月26日と9月6日に行いました。参加者は、町内役員、避難誘導班長、避難誘導サポート班(町内理事)、民生委員です。

自然災害時にどのように要支援者の方に避難していただくかを検討しました。

まずは、要支援者の方、または家族に面会し、避難誘導の必要性の確認をします。民生委員、誘導班長、誘導サポート班で情報を共有します。御南西公民館が要支援者の方の避難場所です。そこに避難が必要な方がいる時は、誘導班長が協力しあって活動します。2階への避難が困難な方は、日頃から災害時に、いつ、どこに、どのように、避難するか考え、臨機応変に行動することが、被害を少しでも減らせることになると思います。

自然災害時には、まず「自助」次に「共助」そして「公助」で。

皆様のご協力を
お願いします。

